

結果の要約

1 職業

石川県の15歳以上就業者数(596,324人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業員」が188,986人(15歳以上就業者数の31.7%)と最も多く、次いで「事務従事者」が109,610人(同18.4%)、「販売従事者」が84,303人(同14.1%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,155人(9.2%)増、「保安職業従事者」が724人(8.0%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が4,094人(22.2%)減、「運輸・通信従事者」が2,226人(10.4%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が34.9%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が34.0%、「販売・サービス関係職業」が26.1%、「農林漁業関係職業」が3.9%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.9ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.0ポイント、0.3ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業員」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業員」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.9時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.6時間と最も長く、次いで「管理的職業従事者」が45.4時間、「販売従事者」が44.6時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.2時間減、「販売従事者」が1.5時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が154,523組(夫婦数293,654組の52.6%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が72,725組(同24.8%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業員」である夫婦が21,473組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の13.9%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業員」、妻が「事務従事者」である夫婦が15,814組(同10.2%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は137,381世帯(住宅に住む一般世帯415,988世帯の33.0%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は278,607世帯(同67.0%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が100,653世帯(同24.2%)、「女性のみ」の世帯が48,559世帯(同11.7%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が21,000世帯(同5.0%)となっている。

図1 石川県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

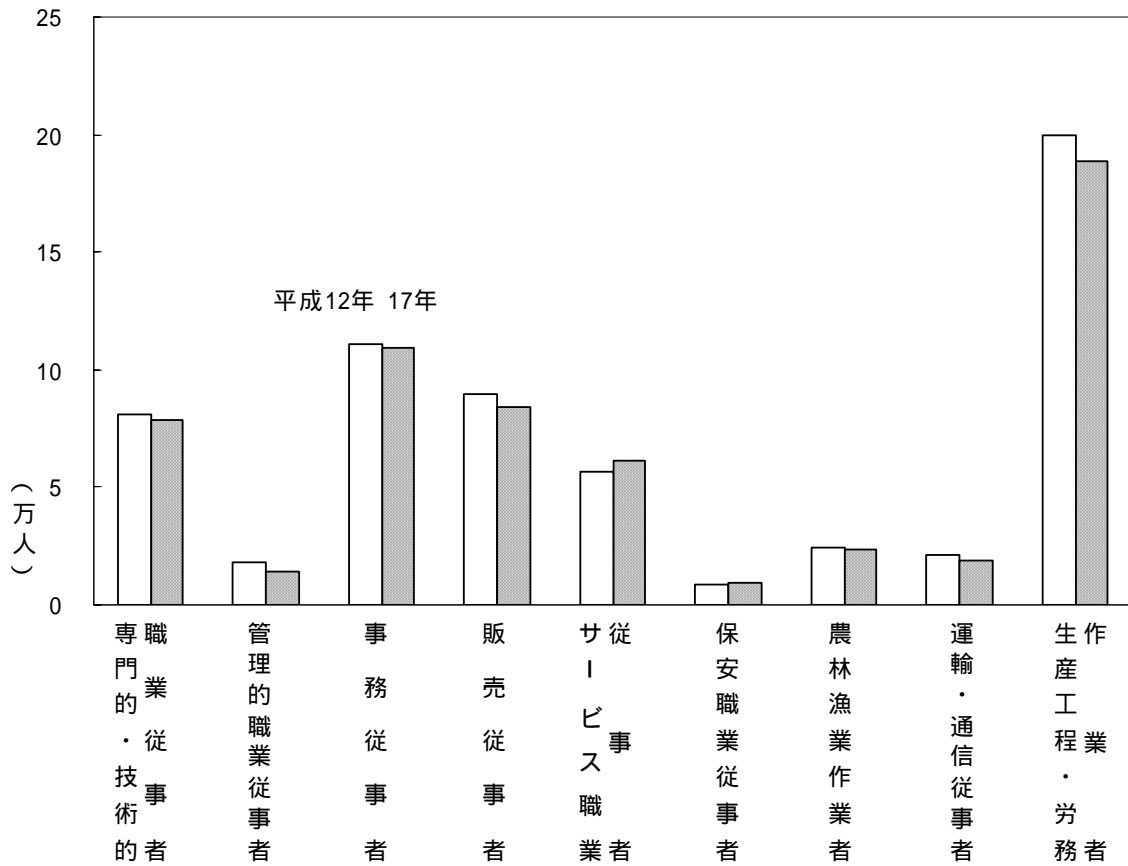


図2 石川県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

